

皆様の情報誌です。ぜひ、ご家庭にお持ち帰りください。 <http://www.hosp.u-ryukyu.ac.jp/>



琉球大学医学部附属病院長
第一内科長

藤田 次郎

巻頭の挨拶

皆様、明けましておめでとうございます。

私は年末・年始は故郷の香川県高松市には帰省せず、沖縄県で暖かいお正月を過ごしました。元旦は良い天気、朝、琉球大学医学部附属病院を訪れたところ、久高島を眺望できる「海の広場(呼称)」には多くの近所の方々が朝陽を見ようと集まっておられ、私もタイミングよく初日の出を見ることができました。翌日も美しい朝陽を見ることができました。

さて私は、申年であり、今年は、年男になります。昨年の4月から病院長に就任しておりますが、この8か月は、本当に充実した日々を過ごさせていただきました。病院の問題点も把握できるようになり、これから本格的な改革に取り組むつもりです。

さて昨年を振り返りますと、医学部附属病院においては、平成27年4月に救急部拡充整備事業として、救急災害医療棟の稼働が開始しました。今後は高度救命救急センターを目指して、医師の増員も含め積極的な対応を進めたいと考えています。また外来部門においては、入・退院支援センターがオープンし、それに伴って医療支援課のスペースが拡大いたしました。また医療支援課職員の努力により、待ち時間の大幅な短縮が実現しつつあります。年末・年始にはLAWSONの拡張工事が終了し、また年度内にはドールコーヒーショップがオープンする予定です。

さて、「骨髄移植療法等における技術基盤の確立と関連分野の人材育成」事業が今年度で終了いたしますが、骨髄移植を実施する体制は維持していくつもりです。新たに開始になる事業として、沖縄県地域医療介護総合確保基金事業による「在宅療養支援に係る看護職の実践力養成事業」(H27～H29)、および「医療機関勤務環境改善推進事業」(H27～H28)があります。

昨年4月に、事務組織として「上原地区キャンパス移転推進室」を大学本部に設置し、「琉球大学医学部および同附属病院移転整備基本構想」を策定いたしました。平成36年度末を目前に、医学部および同附属病院を宜野湾市(平成27年3月に返還されたキャンプ瑞慶覧:西普天間住宅地区)に移転予定であり、国際医療拠点に相応しいキャンパス整備を目指し、全学を挙げて取り組んでおりますので、皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

本院は沖縄県における唯一の医育機関病院であり、且つ唯一の特定機能病院でもあります。これらの本院の役割を果たしつつ、一昨年末に立ち上げました沖縄県地域医療支援センターに代表されるように、沖縄県の地域医療の司令塔としても期待されており、継続的に離島・へき地医療を守るための役割を果たさなければなりません。これらも勘案して、病院機能の向上を目指していきたいと考えております。

最後に、附属病院長として病院を受診される患者さんのみならず、病院関連の職員の皆様の今年の御健勝と益々のご発展を祈念致します。

琉大病院では、平成27年9月、入院から退院までの窓口となる入退院案内・医療福祉支援センターを設立しましたので、各部署の役割と特徴をご紹介します。

入院する患者にとってその不安は大きいものです。これまでは、外来で入院の説明を行っていましたが、外来の混雑の慌ただしさの中では、説明が不十分になり質問しづらい状況なのが課題でした。また、退院の目途がついても在宅での療養支援が遅くなるなどの問題もありました。そこで、入院から退院までを支援するセンターを設立しました。

まず特徴なのは、センター入り口です。正面玄関の左手に位置し駐車場から近くなり、入院受付窓口は広く、明るく、静かな環境で入院申し込み手続きを行えるよう工夫しています。

次にセンターの大きな特徴としては、入院準備室の登場です。

入院準備室としては平成24年にはすでに機能していましたが、今回、入院受付窓口すぐ側に移動し、新しく広く生まれ変わりました。入院準備室では看護師が面談を行うブースがあり、入院日時の確認、持参品の説明や問診表の記入とオリエンテーションを行っています。入院期間の大まかな流れと検査や手術の説明などのほか、お薬や食事についてなど、生活環境についても細かく確認をしています。看護師と座ってお話していただくことで、少しでも不安を解消できればと期待しており、今後は、対象を一部の診療科(7診療科)の新規入院に限っているため、さらに診療科を増やせるよう計画しています。

そしてもうひとつの特徴が、医療福祉支援センターです。

入院準備室と並んで配置しており、ここでは、地域の医療機関から琉大病院への紹介患者の受け入れ調整と、専属の看護師と医療ソーシャルワーカーが、療養や社会福祉についての相談をうけています。医療費や福祉制度の相談、自宅での療養が難しい方や転院が必要な方の相談とその支援が大きな役割です。

センター開設から4か月経過し、入院窓口、入院準備室、医療福祉支援センターの3部署の役割と特徴が生かされ、入院から退院にむけての流れが一つとなり、少しでも不安が解消され、そしてより多くの受け入れができるよう地域貢献を目標に今後もスタッフ一同励んでまいります。





右が病院正面玄関、
奥が入退院案内・医療福祉支援センター入口



入退院案内・医療福祉支援センター入口



入院窓口



待合室には沖縄県立沖縄高等特別支援学校の学生さんの
作品を展示しています
展示作品は定期的に入れ替えますので、ぜひご覧ください



待合室
こちらにも沖縄県立沖縄高等特別支援学校の学生さんの
作品が展示されています



入院準備室



医療福祉支援センター窓口



琉球大学で再生医療・細胞治療が可能に!

野口 洋文

琉球大学大学院医学研究科
再生医学講座 教授

琉球大学医学部再生医療
研究センター センター長

沖縄県の再生医療中核拠点として、平成27年4月に再生医療研究センターが設置され、同年6月に開所式が行われました。当センターは、ロート製薬(株)から寄贈された2階建ての建物(延床面積812m²)の1階部分に、沖縄県先端医療産業開発拠点形成事業で整備された本格的な細胞培養加工施設(床面積224m²)を有しています。この細胞培養加工施設は、合計12のユニットからなる本格的なもので、近年主流になりつつあるアイソレータ方式を採用しています。このアイソレータ内は極めて高い無菌状態となっており、GMP基準に準拠した再生医療用の細胞を調製することができます。

平成26年11月25日に「再生医療等の安全性の確保等に関する法律(再生医療等安全性確保法)」が施行され、細胞培養加工施設の登録や再生医療等提供計画書の提出など、この法律に従った再生医療や細胞治療の実施が義務付けられています。琉球大学医学部では、ハード面の準備として同センター内に設置した細胞培養加工施設の審査を医薬品医療機器総合機構(PMDA)から受け、平成27年10月に特定細胞加工製造物事業者として九州地方厚生局長から許可を取得しました。ソフト面の準備として標準作業手順書(SOP)の整備のため、平成26年12月に標準化委員会を設置し、改訂を重ねて平成27年10月にSOPが完成しました。また平成27年6月に琉球大学医学部内に認定再生医療等委員会および特定認定再生医療等委員会の設置を申請し、同年10月に認定を受けました。施設許可および委員会の設置認定により、琉球大学医学部では治療用の細胞を培養・加工・供給できる体制が整ったこととなります。

当センターの業務は、細胞培養加工施設を維持管理・運営しつつ、安全な再生医療用の細胞を供給し、医学部附属病院や医療機関、研究機関、企業などと連携して優れた再生医療研究を実用化することです。将来的には、当センターにて実用化された再生医療を多くの患者様に提供し、沖縄県の健康社会の実現と再生医療の産業化推進に貢献したいと考えております。





▲再生医療研究センター外観



▲細胞調製ユニット内のアイソレータ

再生医療研究センターで行うプロジェクト

- ・ヒト脂肪組織由来幹細胞を用いた臨床研究
- ・再生医療のシーズの開発

ヒト脂肪組織由来幹細胞による細胞治療が有効だと考えられているもの(前臨床試験中のもの含む)

- ・漏斗胸治療
- ・顔面半側萎縮症の治療
- ・心筋梗塞の治療
- ・臓器移植時の生着性向上
- ・難治性骨折の治療
- ・頭部外傷に対する骨欠損の整復
- ・乳房再建
- ・GVHD治療
- ・難治性創傷の治療
- ・変形性関節症の治療
- ・肝障害の治療
- ・尿失禁に対する細胞療法
- ・顔面脂肪萎縮の治療
- ・心筋再生
- ・下肢血管再生治療
- ・軟骨再生治療
- ・治療抵抗性の関節リウマチの治療
- ・クローン病による瘦孔形成修復

病院の霊安室前花壇に花を咲かせましょう!

医学部保健学科成人・がん看護学分野 准教授 特別管理産業廃棄物管理責任者 大湾 知子

平成27年10月13日(金)15:30~17:00、経営管理課・経営企画課・総務課・医療支援課の職員15名、学外ボランティア1名合計16名で琉大附属病院の霊安室前に青色の花が咲くアメリカンブルーの苗を植えました。その場所では、お亡くなりになられた患者さんをお見送ります。お花のある花壇は、患者さんやご家族の皆さまの心を癒してくれます。職員のあたたかい両手に包んだ幸せいっぱいアメリカンブルーの花が、琉大病院に入院された患者さんに良かったと実感できるように、花壇に花を咲かせましょう!と、まずは、花壇の雑草をビニール3袋分取り除き土づくりから始め、みんな心一つになりショベル、クワ、ヘラで耕しました。土が柔らかくなってから堆肥を入れ、心をこめて苗をカッコウ良く並べて水を与えました。このアメリカンブルーは、沖縄の台風にも力強く、末広がり豊に花が太陽を仰ぎ咲きます。作業終了後には、徳明会の職員がおいしいお茶をご寄付くださいました。



高気圧酸素治療が復活しました!

~大型治療装置が完全復旧し、新たに1人用治療装置も2台入りました~

高気圧治療部長 合志 清隆

昨年(2015年)の台風で、大型治療装置の一部が破損し、治療を必要とされる方々と医療機関の皆様方には大変なご迷惑をおかけしておりました。改めてお詫び申し上げます。治療装置は完全復旧し、昨年11月から治療を再開しております。

この治療法はさまざまな病気に用いられており、潜水病(減圧障害)、軟部組織の重症感染症やガス中毒など命の危険があるもの、腸閉塞、網膜動脈閉塞症、脳梗塞、脊髄麻痺や放射線の副作用などの重症なもの、さらに多いものでは糖尿病や高齢者にみられる皮膚潰瘍、あるいは突発性難聴などがあります。これら以外にも創(キズ)の治りが良くなりますので、形成外科、高齢者、リウマチなどの方々の手術後に用いられています。

特殊救急・集中治療ないし先進医療として、多少ともお役に立てればと考えています。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



復旧した大型治療装置



11月に新設した1人用装置

※曜日枠に赤まる●が付いた曜日が外来診療日となります。外来の際にご確認ください。

※診療受付時間は午前8時から午前11時まで、診療開始時間は午前9時です。予約がある場合は、その限りではありません。

平成28年1月1日現在

外来診療日割表

| 診療科 | 専門外来 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 備考 |
|--------|---------------------|---|---|---|---|---|--|
| 第一内科 | 感染症内科 | ● | ● | | ● | ● | 新患は要紹介状 |
| | 呼吸器内科 | ● | ● | | ● | ● | 新患は要紹介状 肺腫瘍:火・金曜日 |
| | 消化器内科(消化管) | ● | ● | | ● | ● | 新患は要紹介状 糞線虫外来:木曜日 |
| | 〃(肝臓) | ※ | ● | | ● | ● | 新患は要紹介状 ※月曜日午後:B型肝炎訴訟診療(要予約) |
| | 〃(胆道・膵臓) | ● | | | | | 新患は要紹介状 月曜日のみ |
| 第二内科 | 血液内科(骨髄移植外来) | | ● | ● | | ● | 新患は要紹介状 |
| | 成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)外来 | | ● | | | | |
| | 肥満症(生活習慣病) | | ● | ● | | ● | 新患は要紹介状、院外は要予約 |
| | 糖尿病・内分泌・代謝内科 | ● | ● | ● | | ● | 糖尿病外来は専用フォーム有 (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) (月曜日は、院内入院患者の紹介のみ) |
| | 膠原病・リウマチ内科 | | ● | ● | | | ※膠原病・リウマチ内科は専門医の確保が出来るまで休診 (再来のみ可) |
| | 骨粗鬆症・男性更年期(LOH) | | ● | ● | | | |
| | 女性医師による女性外来 | ● | ● | | | ● | ※女性医師による女性外来は要予約(院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) |
| | 糖尿病・代謝内科 | | | ● | | ● | |
| 第三内科 | 神経内科 | ● | | ● | ● | | 新患は要紹介状、要予約 |
| | 高血圧・腎臓内科 | | | ● | ● | ● | (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) |
| 循環器科 | 高年齢内科 | | | ● | ● | ● | |
| 循環器科 | 循環器内科 | ● | | ● | ● | ● | 新患は要紹介状、要予約 (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) |
| 第一外科 | 上部消化管外科 | ● | | ● | | | 新患は要紹介状 |
| | 下部消化管外科 | ● | | ● | ● | | 下部消化管外科:新患は水・木曜日(要紹介状、要予約) |
| | 肝胆膵外科 | ● | | ● | ● | | (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) |
| | 乳腺・甲状腺外科 | ● | | ● | | | |
| | 小児外科 | ● | | ● | | | 小児外科は午後のみ |
| 第二外科 | 呼吸器外科 | | ● | | ● | | 呼吸器外科:院内紹介は事前に電話相談 |
| | 心臓血管外科 | | ● | | | ● | |
| 心臓血管外科 | ステント外来 | | ● | | | ● | 血管外科:新患は要紹介状、院外は要予約 (医療福祉支援センター内線1371で予約) |
| | 血管外科 | | ● | | ● | ● | 木曜日:院内紹介のみ(主にDVT、静脈瘤) |
| 脳神経外科 | 一般・腫瘍 | ● | | ● | | ● | 新患は要紹介状、要予約 |
| | 脳血管障害 | ● | | ● | | ● | 他院:他科からの紹介・予約患者は10時~11時に受付 院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約、院内からの紹介は脳外科外来受付(月・水・金)内線1307で予約 |
| | 新患・再来 | ● | | ● | | ● | 緊急を要する患者は医局1171または病棟3801へ連絡し 当日の当直医(担当医)が対応します。 |
| 整形外科 | 手の外科 | ● | | ● | | ● | 新患は要紹介状 |
| | リウマチ | | | ● | | ● | |
| | 骨・軟部腫瘍 | | | ● | | ● | ※骨・軟部腫瘍:新患は水曜日のみ |
| | 脊椎・脊髄 | ● | | ● | | ● | |
| | 股関節 | ● | | ● | | ● | |
| | スポーツ医学(膝) | ● | | ● | | ● | |
| | 骨粗鬆症 | | | ● | | ● | |
| | 小児整形 | | | ● | | ● | ※小児整形:毎月第1金曜日は休診(H28.1月まで)第2、4金曜日は休診(H28.2月から) |
| 形成外科 | 新患・一般再来 | | ● | | ● | | 新患は要紹介状 |
| 産科婦人科 | 新患 | ● | | ● | | ● | |
| | 産科 | ● | ● | ● | ● | ● | 火曜日・木曜日:予約再来のみ |
| | 婦人科 | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | 生殖不妊・内分泌・骨粗鬆症 | ● | | ● | | ● | |
| 小児科 | 新患・一般再来 | ● | | ● | ● | ● | 新患は要紹介状 |
| | 生活習慣病・内分泌 | ● | | ● | ● | ● | 小児循環器専門医は不在 |
| | 遺伝・先天代謝異常 | | | ● | | | 小児腎臓科は要相談 |
| | 神経 | ● | | | ● | | |
| | 新生児 | ● | | | | ● | |
| | 血液(移植外来) | ● | | ● | | ● | |
| | 膠原病 | ● | | | | ● | |
| 皮膚科 | 皮膚科 | | ● | | ● | ● | 新患は要紹介状 |
| | 皮膚外科 | | ● | | ● | ● | |
| | 癬癩 | | ● | | | ● | |
| | 強皮症・皮膚筋炎 | | ● | | | ● | |
| 腎泌尿器外科 | 腎泌尿器外科 | ● | ● | | | ● | 新患は要紹介状、要予約(院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約)腎移植外来:月曜日は再来のみ |
| | 腎移植外来 | ● | ● | | | ● | |
| | 小児泌尿器外来 | ● | | | | | 小児泌尿器外来は、月曜日午後(予約再来のみ) |
| 耳鼻咽喉科 | 新患 | ● | | ● | ● | | 新患は要紹介状 |
| | 甲状腺・頭頸部腫瘍 | ● | | ● | ● | | 院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要 |
| | 鼻副鼻腔・アレルギー | ● | | ● | ● | | |
| | 中耳炎・難聴・めまい・顔面神経 | ● | | ● | ● | | |
| | 人工内耳 | | | ● | | | |
| | 幼児難聴・補聴器 | ● | | | ● | | |
| | 形成・外傷・味覚 | | | ● | ● | | |
| | 口腔咽頭・唾液腺・音声・嚥下 | ● | | ● | ● | | |
| | 頸部エコー外来 | ● | | ● | ● | | |
| 眼科 | 緑内障 | ● | | ● | | | 月曜日は外来者の新患及び再来予約のみ |
| | 小児眼 | | | ● | ● | | |
| | 網膜硝子体 | | ● | | ● | | |
| | 角膜 | | ● | ● | ● | | |
| | 神経・腫瘍・ぶどう膜炎 | ● | ● | ● | ● | | 月曜日の神経、腫瘍は午後の再来のみ |
| | 一般再来 | | ● | ● | ● | | |

※曜日枠に赤まる●が付いた曜日が外来診療日となります。外来の際にご確認ください。

※診療受付時間は午前8時30分から午前11時まで、診療開始時間は午前9時です。予約がある場合は、その限りではありません。

平成28年1月1日現在

外来診療日割表

| 診療科 | 専門外来 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 備考 |
|------------|------------------------------------|--------|---|---|---|---|--|
| 精神科 神経科 | 新患・一般再来 | | ● | | ● | ● | 新患は予約制 (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) |
| | 児童・思春期外来 | ● | | | | | (院内他科通院中の方は当科外来受付・内線1306で予約) |
| | 周産期支援外来 | ● | | | | | ※紹介状も必要です。 |
| | 光トポグラフィ外来 | ● | ● | | ● | ● | |
| 放射線科 | 放射線診断・IVR | | | ● | | ● | 新患は要紹介状 |
| | CTガイド下・PVP | | | ● | | | |
| | 甲状腺・RI | | ● | ● | | | 甲状腺は水曜日のみ |
| 麻酔科 | 放射線治療 | | ● | ● | | ● | 重粒子線治療相談外来は水曜日のみ |
| | 麻酔科 ペインクリニック | ● | | ● | | ● | |
| 歯科 口腔外科 | 新患・一般外来 | ● | ● | | ● | ● | 新患は要紹介状 |
| | 口唇・口蓋裂 | ● | | | | | 新患・一般外来：月～金曜日(水曜日を除く) |
| | 顎変形症 | ● | | | | | |
| | 腫瘍 | | ● | | | | |
| | 顎関節症 外傷 | | | | | ● | |
| 口腔ケアセンター | | ● | ● | | ● | ● | |
| リハビリテーション部 | リハビリテーション部 | ● | ● | ● | ● | ● | 当院リハは入院患者のみ。以外は電話にて要相談 新患は火・水・木曜日(要リハ紹介状) (月・金午前は検査優先) |
| 高気圧治療部 | 高気圧治療部 | ● | ● | ● | ● | ● | 新患は要紹介状 新患は午前11:00まで、救急は要連絡 |
| 血液浄化療法部 | 血液浄化療法部 | ● | ● | ● | ● | ● | 土曜日は再来のみ |
| 地域医療部 | 地域医療部 | | ● | ● | ● | ● | 水曜日は第1・3・5の午前中のみ 木曜日は第2・4の午前中のみ ※新患は原則要紹介状 |
| | 総合診療科部門 | ● | ● | ● | ● | ● | 総合診療科部門は午前のみ※外来患者のみ ※新患は原則要紹介状 |
| 総合診療センター | 禁煙外来 | | ● | ● | | ● | 火・水・金曜日の午前中・予約制※当院通院中の外来患者のみ |
| | ものわずれ診断外来 | ● | | | ● | ● | 完全予約制・院外からの紹介患者のみ (医療福祉支援センター・内線1371で要予約) |
| | 漢方外来 | | | | | ● | 第3金曜日の午後のみ※事前予約が望ましい |
| がんセンター | 緩和ケア外来(身体的緩和部門) 緩和ケア外来(精神的緩和部門) | ● | ● | ● | ● | ● | 新患は要紹介状(火・木曜日は予約制) |
| | がん看護外来 | ● | ● | ● | ● | ● | 月・火・木・金曜日(12:00~16:00) 水曜日(12:00~14:00) ※事前予約が望ましい(内線 1311)で予約 |
| 救急部 | 救急部 | 24時間診療 | | | | | |

本院の理念及び基本方針

理念

病める人の立場に立った、質の高い医療を提供するとともに、国際性豊かな医療人を育成する。

基本方針

1. 生命の尊厳を重んじた全人的医療の実践
2. 地域における保健・医療・福祉の向上に対する貢献と関連機関との連携
3. 先端医療技術の開発・応用・評価
4. 国際性豊かな医療人の育成

患者さんの権利と責務について

琉球大学医学部附属病院では、患者さんを中心とした「安全・安心・思いやり」に基づくより良い医療を目指しております。患者さんとの深い信頼関係の上に成り立つ医療の大切さを十分に理解するとともに、患者さんには一人一人に次のような権利と責務があることを確認いたします。

●患者さんの権利●

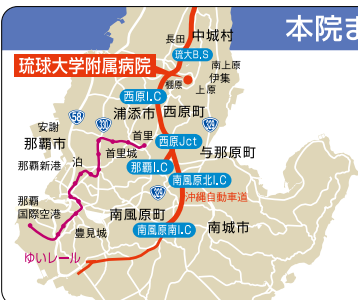
1. あなたは、どんな場合でも、一人の人間として大切に扱われる権利があります。
2. あなたは、どのような境遇、環境であっても、専門家による平等で良質な医療を受ける権利があります。
3. あなたは、病気のことや治療について十分に教えてもらう権利があります。
4. あなたは、治療について意見を述べる権利と選択できる権利があります。
5. あなたは、あなた自身の話したこと、病気、身体について、知られたくないことを守られる権利があります。

●患者さんの責務●

1. 最善かつ適切な診療を行なうために、あなた自身の健康状態についてできるだけ正確に伝える責務があります。
2. 主治医や担当医の治療や退院計画に主体的に取り組む協力する責務があります。
3. すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、病院の規則に従い、医療の妨げとならないように協力する責務があります。特に攻撃的な態度や暴言、乱暴な行為は謹み、施設の所有物を大切に使うようにして下さい。

平成 22 年 8 月

本院までの交通機関



- 那覇バス
所要時間:那覇バスターミナルより本院まで約50分
- 97番 琉大線
経路:那覇バスターミナル→牧志→儀保→琉大病院前→長田→中部商業高校前→琉大北口
タクシー・乗用車での所要時間
●那覇市街より約25分 ●沖縄市街より約20分
●那覇空港より約35分 ●モノレール首里駅から10分
※モノレール儀保駅からバス(97番)で30分

附属病院 ホームページが携帯サイトからも閲覧できます。



ボランティア募集

本院では、一般の方からの病院ボランティア(外来ロビーでの案内・補助等)を広く募集しております。空いている時間を利用して、一緒に参加してみませんか? まずはお気軽にご連絡ください。
【連絡先】総務課総務第二係 (098-895-3331 (内線: 2102))

琉球大学医学部附属病院

http://www.hosp.u-ryukyu.ac.jp/

電話(098)895-3331(代表)

医療福祉支援センター(内線1371)

〒903-0215 沖縄県西原町字上原207番地